

A04・A05 製造分野におけるDX推進

【受講対象】

中堅層
管理者層

【概要】

生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革（DX）を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。

会場：【A04】豊橋商工会議所

（豊橋市花田町石塚42-1）

【A05】独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 中部職業能力開発促進センター

（ポリテクセンター中部）（小牧市下末1636-2）

講師：A04 加藤 栄作、A05 伊藤 彰規（株式会社東京ナレッジプラン）

カリキュラム

■ 製造業におけるDXの理解 《1.5h》	<u>DXとは</u> DXとはなにか、デジタイゼーション、デジタルイゼーションとの違いやDXの本質とはなにかを理解する。
	<u>製造業におけるDXへの取り組み</u> 製造業において、DX実現に向けて世の中に出ているIT技術と導入において何から始めるべきかを考える。
	<u>製造分野DXの目指す姿</u> 製造分野DXの目指す姿（スマートファクトリ、スマートプロダクト）について理解する。
■ DX実現事例 《1.5h》	<u>DX化取り組み事例</u> DX化に取り組んでいる事例から、実現するための具体的な取り組みを考える。
	<u>データ収集・連携・活用方法</u> DXを成功させるために必要な、正しいデータの収集、分析、活用のための取り組み。
	<u>自社にあったDXを考える</u> 他人（他社）のDXはそのままは使えない、自社にあったDXとはなにかを考えないと意味がない。
■ DX推進の目標設定と解決策 《1.5h》	<u>現状把握とありたい姿を描く</u> DXを考えると、まずは現状把握することと、「ありたい姿」を描き共有することの重要性を理解する。
	<u>DX化目標の設定</u> 「ありたい姿」に向けて、具体的なDX化目標を設定し、共有する。
	<u>DX化への変革シナリオ</u> 「ありたい姿」のDX化目標に向けて、具体的な業務変革シナリオを描き、解決策を検討する。
■ DX推進の計画と実行 《1.5h》	<u>社内推進組織の構築と連携</u> DX推進のためには、トップ直轄の関連全部門参加での社内プロジェクト体制を構築し、進める必要がある。
	<u>見える化とデータ活用</u> 正しいデータの収集とその見える化を行うことで共有化することと、データを活用した取り組み。
	<u>DX人材の育成・確保</u> 社にDXを進めるにあたって、どのような人材が必要であるか、またその育成方法を考える。
■ 演習（上記訓練を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社現状のDX進捗状況の把握 ・ 自社のDXの目指す姿はなにか（DX化目標） ・ 自社の「あるべき姿」からDX化を設計する。 ・ DX人材の育成計画